
宝塚市
サービス付き高齢者向け住宅及び
住宅型有料老人ホーム実態調査
報告書

令和3年3月

目次

サービス付き高齢者向け住宅の運営事業者に対する実態調査	1
調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査の実施内容・実施期間	1
3. 回答者の属性	1
4. 報告書の留意点	1
調査結果	2
I 住宅の情報	2
II 入居者の状況について	7
III 退去者について	20
IV 入居募集について	26
V 独自の取組みについて	28
VI 職員の配置状況について	29
VII 医療との連携について	34
VIII 今後の事業展開について	36
IX 運営・建設上の課題について	37

サービス付き高齢者向け住宅の運営事業者に対する実態調査

調査概要

1. 調査目的

今後の高齢者福祉サービスや健康づくりの方策を検討するために、サービス付き高齢者向け住宅の入居者の情報、今後の事業展開、運営課題などの実態を調査し、次期計画策定における基礎的な資料を作成するために実施しました。

2. 調査の実施内容・実施期間

調査名称	宝塚市サービス付き高齢者向け住宅及び住宅型有料老人ホーム実態調査
対象者	宝塚市内に所在し、特定施設入居者生活介護の指定を受けていないサービス付き高齢者向け住宅及び住宅型有料老人ホーム
実施期間	令和2年5月
実施方法	郵送配布、郵送回収
件数	配布数12件、回収数11件

3. 回答者の属性

	回答数	割合
介護系事業者	9	81.8%
不動産系事業者	1	9.1%
医療系事業者	0	0.0%
建設系事業者	0	0.0%
その他	1	9.1%
全体 (n)	11	100.0%

4. 報告書の留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中に「MA」と記載し、数字はすべて人数表記しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
4. 「不明」とは回答として用意された選択肢を選択したことを表しています。また、「無回答」とは回答として選択肢がひとつも選択されなかったことを表しています。
5. サービス付き高齢者向け住宅を「サ高住」と略して記載しています。

調査結果

I 住宅の情報

(1) 入居開始時期

問1 サ高住の入居開始時期をご記入ください。なお、高齢者専用賃貸住宅などからサ高住に登録した場合は、サ高住の登録年月を記入してください。

○平成24年以降、徐々に住宅数が増加しています。

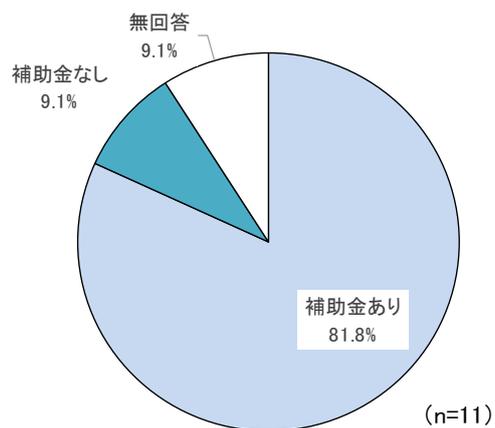
	回答数	割合	住宅数													
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
平成24年9月	1	9.1%														
平成24年11月	1	9.1%														
平成25年1月	1	9.1%														
平成25年2月	1	9.1%	1	1												
平成25年10月	1	9.1%				2										
平成26年3月	2	18.2%														
平成26年11月	1	9.1%														
平成28年8月	1	9.1%									1					
平成29年4月	1	9.1%					1									
平成29年3月	1	9.1%														
平成31年3月	1	9.1%				1										
全体 (n)	11	100.0%														

(2) 国からの「建設・改修に係る補助金」の利用状況

問2 サ高住（住宅型有料老人ホームを除く）の補助制度の利用状況についてお聞きします。国からの「建設・改修に係る補助金」を利用されましたか。

○国からの「建設・改修に係る補助金」の利用状況について、「補助金あり」は81.8%となっています。

【建設・改修に係る国の補助金】

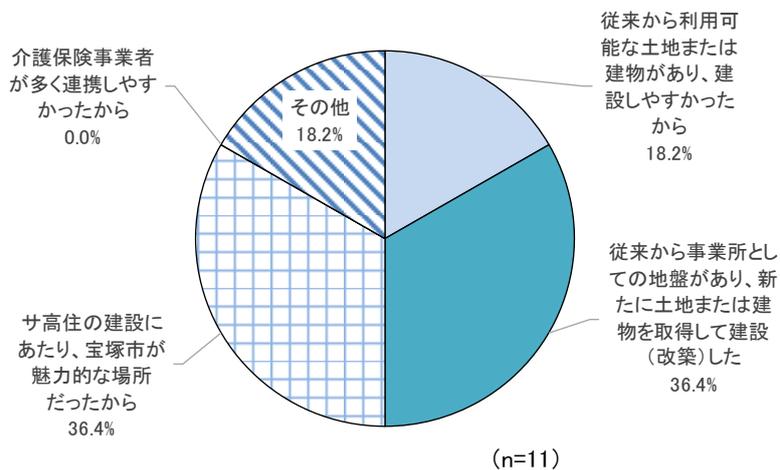


(3) 宝塚市内に建設された理由

問3 宝塚市内に建設された理由についてお聞きします。(いくつかでも回答可)

○宝塚市内に建設された理由について、「従来から事業所としての地盤があり、新たに土地または建物を取得して建設(改築)した」「サ高住の建設にあたり、宝塚市が魅力的な場所だったから」が36.4%で最も多く、次いで「従来から利用可能な土地または建物があり、建設しやすかったから」が18.2%となっています。

【宝塚市内に建設された理由】



(4) 介護サービスの設置形態と提供主体

問4 下記介護サービス事業所のうち、併設または連携している場合についてお答えください。

- 設置形態毎の提供サービスの種類をみると、「併設・連携あり」では“訪問介護”が63.7%で最も多く、次いで“通所介護”が27.3%となっています。
- 提供主体をみると、全体では「住宅運営者と同一法人」「その他の法人(協定書なし)」が36.0%で最も多くなっています。

【介護サービスの設置形態】

	回答数 (n)	設置形態					割合				
		併設する事業所 (入居者以外も利用あり)	併設する事業所 (入居者以外は利用なし)	その他の連携する事業所	併設及び連携なし	無回答	併設する事業所 (入居者以外も利用あり)	併設する事業所 (入居者以外は利用なし)	その他の連携する事業所	併設及び連携なし	無回答
病院・診療所	11	0	0	3	0	8	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	72.7%
居宅介護支援・介護予防居宅介護支援	11	2	2	0	1	6	18.2%	18.2%	0.0%	9.1%	54.5%
訪問介護	11	1	5	1	1	3	9.1%	45.5%	9.1%	9.1%	27.3%
訪問入浴介護	11	0	0	0	3	8	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%
訪問リハビリテーション	11	0	0	1	2	8	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	72.7%
訪問看護	11	1	0	1	1	8	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%	72.7%
居宅療養管理指導	11	0	0	1	2	8	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	72.7%
通所介護	11	2	0	1	1	7	18.2%	0.0%	9.1%	9.1%	63.6%
通所リハビリテーション	11	0	0	1	2	8	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	72.7%
小規模多機能型居宅介護	11	1	0	0	3	7	9.1%	0.0%	0.0%	27.3%	63.6%
夜間対応型訪問介護	11	1	0	0	2	8	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	72.7%
定期巡回・随時対応型訪問看護介護	11	0	0	1	2	8	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	72.7%
看護小規模多機能型居宅介護	11	0	0	0	3	8	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%
その他	11	0	0	0	0	11	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	154	8	7	10	23	106	5.2%	4.5%	6.5%	14.9%	68.8%

【介護サービスの提供主体】

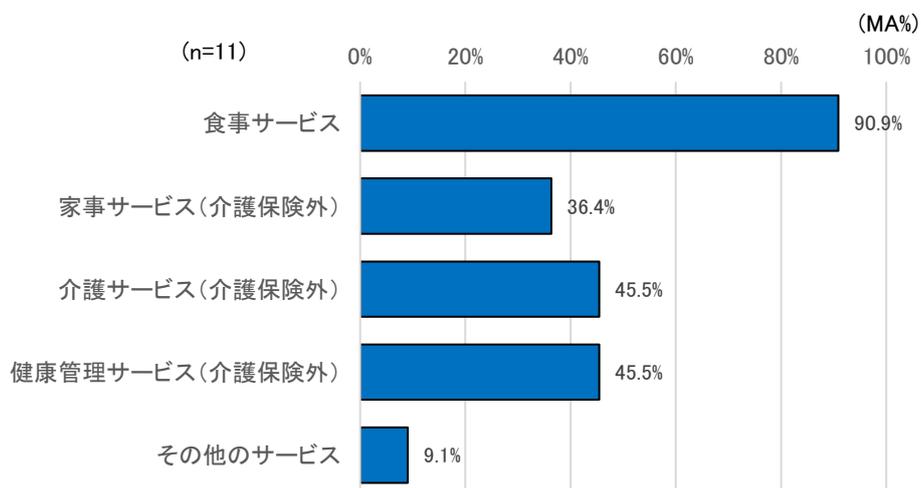
	回答数 (n)	提供主体					割合				
		住宅運営者と同一法人	住宅運営者の関連法人	その他の法人 (協定書あり)	その他の法人 (協定書なし)	無回答	住宅運営者と同一法人	住宅運営者の関連法人	その他の法人 (協定書あり)	その他の法人 (協定書なし)	無回答
病院・診療所	3	0	0	2	1	0	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
居宅介護支援・介護予防居宅介護支援	4	3	0	0	1	0	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
訪問介護	7	4	2	1	0	0	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
訪問入浴介護	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
訪問リハビリテーション	1	0	0	0	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
訪問看護	2	0	0	0	2	0	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
居宅療養管理指導	1	0	0	1	0	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
通所介護	3	0	1	0	2	0	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
通所リハビリテーション	1	0	0	0	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
小規模多機能型居宅介護	1	1	0	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
夜間対応型訪問介護	1	1	0	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
定期巡回・随時対応型訪問看護介護	1	0	0	0	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	25	9	3	4	9	0	36.0%	12.0%	16.0%	36.0%	0.0%

(5) 実施しているサービスについて

問5 下記のうち実施しているサービスをお答えください。(該当するもの全てに○)

○実施しているサービスは、「食事サービス」が90.9%と最も多く、次いで、「介護サービス(介護保険外)」「健康管理サービス(介護保険外)」が45.5%、「家事サービス(介護保険外)」が36.4%の順となっています。

【実施しているサービス】

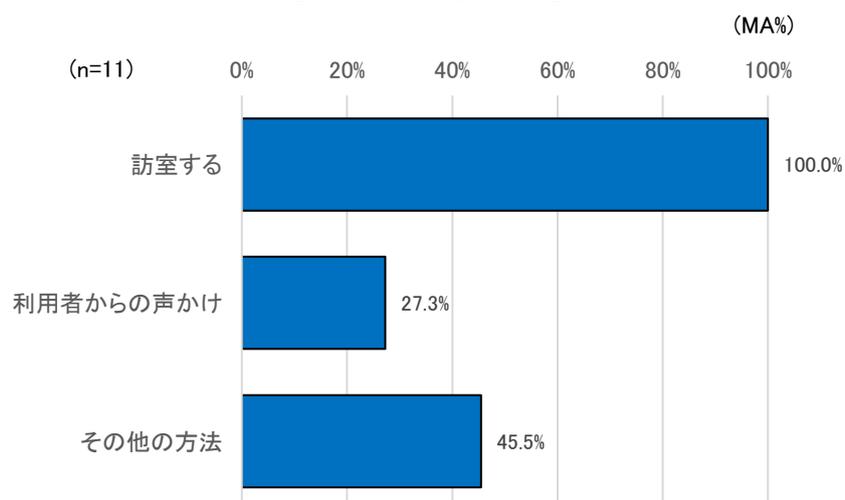


(6) サービスの提供方法

問6 状況把握(安否確認)サービスの提供方法についてお答えください。(該当するもの全てに○)

○状況把握(安否確認)サービスの提供方法は、「訪室」が100.0%と最も多く、次いで、「その他の方法」が45.5%、「利用者からの声かけ」が27.3%の順となっています。

【サービスの提供方法】

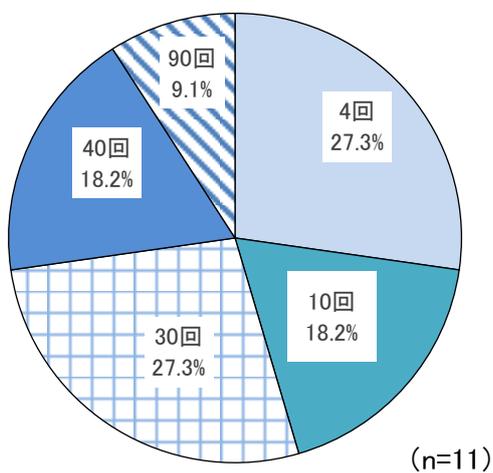


(7) 生活相談サービスの相談頻度

問7 生活相談サービスの相談頻度はどのくらいですか。

○生活相談サービスの相談頻度は、「4回」「30回」が27.3%と最も多く、次いで、「10回」「40回」が18.2%、「90回」が9.1%の順となっています。

【生活相談サービスの相談頻度】



II 入居者の状況について

(1) 住戸数・入居者数等

問8 入居者の状況についてお聞きします。

- 戸数は「世帯・夫婦向け」で27戸、「単身向け」で372戸、合計399戸と回答がありました。戸数の割合をみると、「世帯・夫婦向け」が6.8%、「単身向け」が93.2%となっており、「単身向け」を中心に供給されています。
- 「世帯・夫婦向け」及び「単身向け」の戸数でみる入居率は、「世帯・夫婦向け」が100.0%、「単身向け」が90.3%となっており、全体としては91.0%となっています。

【住戸数・入居者数等】

	入居状況					割合				
	戸数	入居戸数	入居者数	入居予定者数	入居待機者数	戸数	入居戸数	入居者数	入居予定者数	入居待機者数
世帯・夫婦向け	27	27	33	2	0	6.8%	7.4%	9.0%	15.4%	0.0%
単身向け	372	336	332	11	3	93.2%	92.6%	91.0%	84.6%	100.0%
合計 (n)	399	363	365	13	3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【戸数でみる入居率】

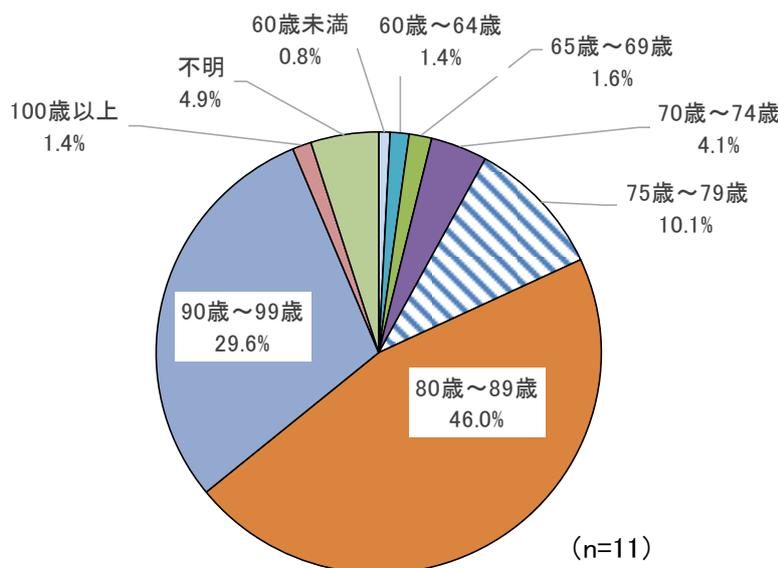
	戸数 (n)	入居戸数	入居率
世帯・夫婦向け	27	27	100.0%
単身向け	372	336	90.3%
合計	399	363	91.0%

(2) 入居者の年齢

問9 入居者の年齢（令和2年1月1日現在）をお答えください。

○入居者の年齢について、「60歳未満」が0.8%、「60歳代」が3.0%、「70歳代」が14.2%、「80歳代」が46.0%、「90歳以上」が31.0%となっています。
 ○64歳以下の内訳（64歳以下の方は8人、全体の2.2%）をみると、「要介護、要支援」が100.0%となっています。

【入居者の年齢】



入居者の年齢	人数	割合
60歳未満	3	0.8%
60歳～64歳	5	1.4%
65歳～69歳	6	1.6%
70歳～74歳	15	4.1%
75歳～79歳	37	10.1%
80歳～89歳	168	46.0%
90歳～99歳	108	29.6%
100歳以上	5	1.4%
不明	18	4.9%
合計 (n)	365	100.0%

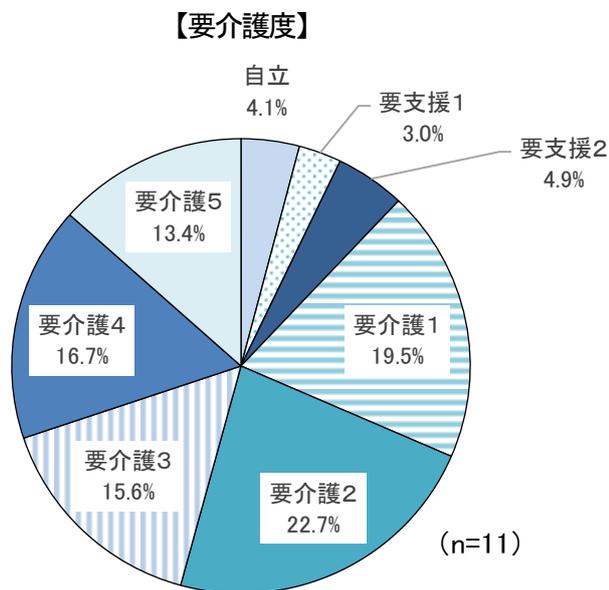
64歳以下の内訳	人数	割合
要介護、要支援	8	100.0%
入居者の配偶者	0	0.0%
その他	0	0.0%
不明	0	0.0%
合計 (n)	8	100.0%

入居者の平均年齢	回答数	割合
80歳～85歳未満	2	18.2%
85歳～90歳未満	8	72.7%
無回答	1	9.1%
全体 (n)	11	100.0%

(3) 入居者の要介護度

問10 入居者の要介護度（令和2年1月1日現在）をお答えください。

○入居者の要介護度について、「要介護2」が22.7%で最も多く、次いで「要介護1」が19.5%、「要介護4」が16.7%となっており、「要介護3」以上は45.7%を占めています。



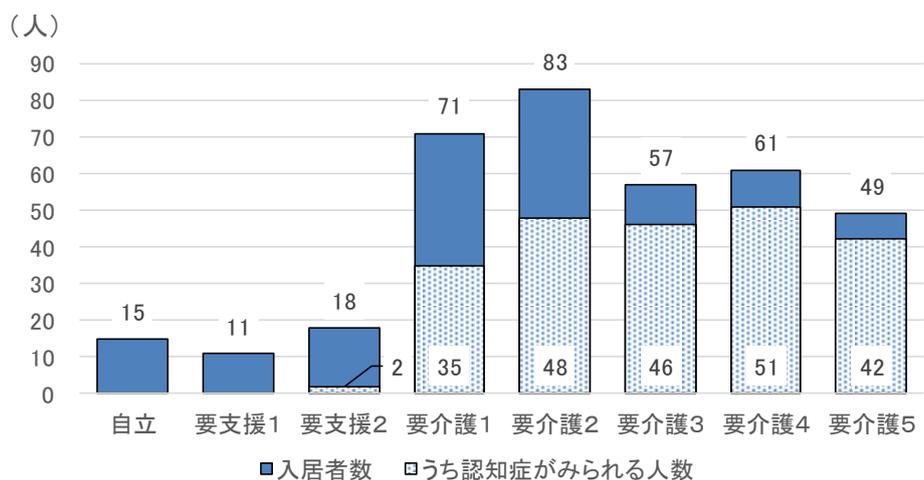
入居者の要介護度	人数	割合
自立	15	4.1%
要支援1	11	3.0%
要支援2	18	4.9%
要介護1	71	19.5%
要介護2	83	22.7%
要介護3	57	15.6%
要介護4	61	16.7%
要介護5	49	13.4%
不明	0	0.0%
合計 (n)	365	100.0%

(4) 入居者で認知症がみられる方の要介護度

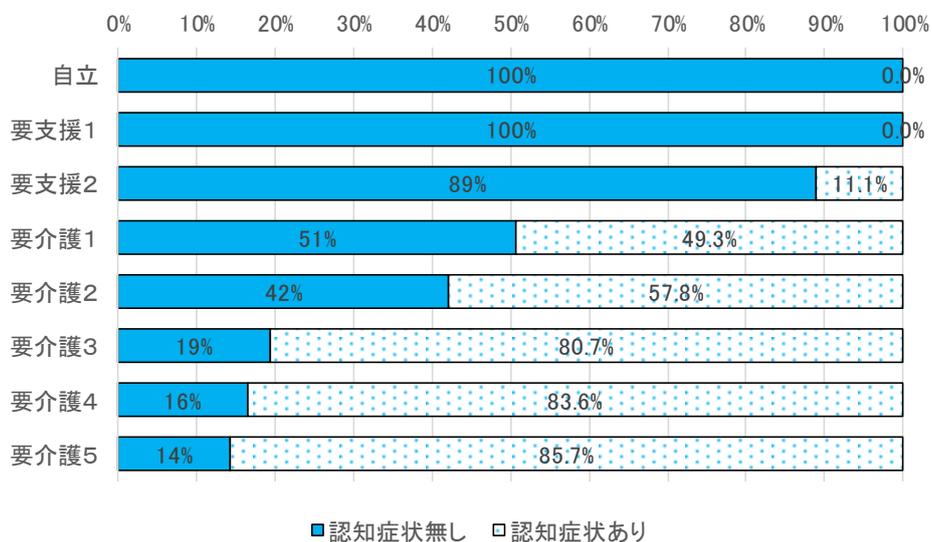
問11 問10で答えた入居者のうち、認知症がみられる方についてお答えください。

- 入居者で認知症がみられる方について、「要介護5」が85.7%で最も多く、次いで「要介護4」が83.6%、「要介護3」が80.7%となっています。
- 要介護度別の認知症がみられる方の割合をみると、「要介護2」以上で5割を超えており、要介護度の上昇とともに多くなる傾向がみられます。

【要介護度別・入居者で認知症がみられる方の人数】



【要介護度別・入居者で認知症がみられる方の割合】

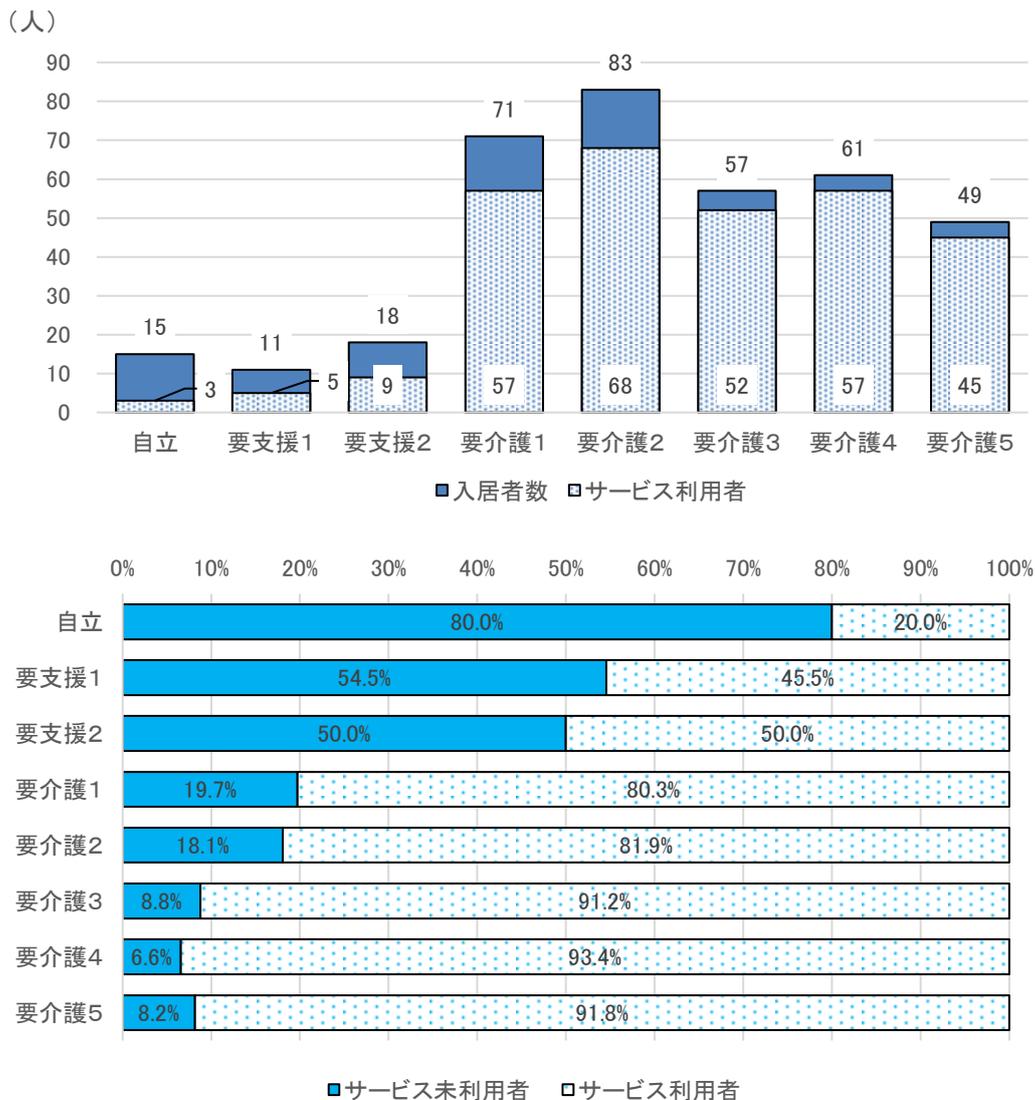


(5) 入居者の介護サービスの利用人数

問12 問10で答えた入居者のうち、介護サービスの利用人数についてお答えください。

○要介護度別に入居者の介護サービスの利用人数についてみると、「要介護4」が93.4%で最も多く、次いで「要介護5」が91.8%、「要介護3」が91.2%と要介護3以上は、9割を超えています。

【要介護度別・入居者の介護サービスの利用人数】

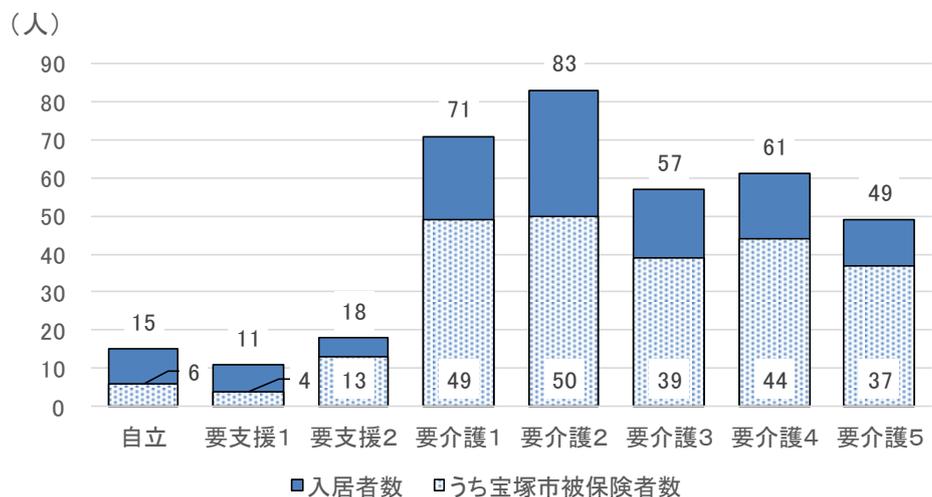


(6) 入居者の宝塚市介護保険の被保険者の要介護度

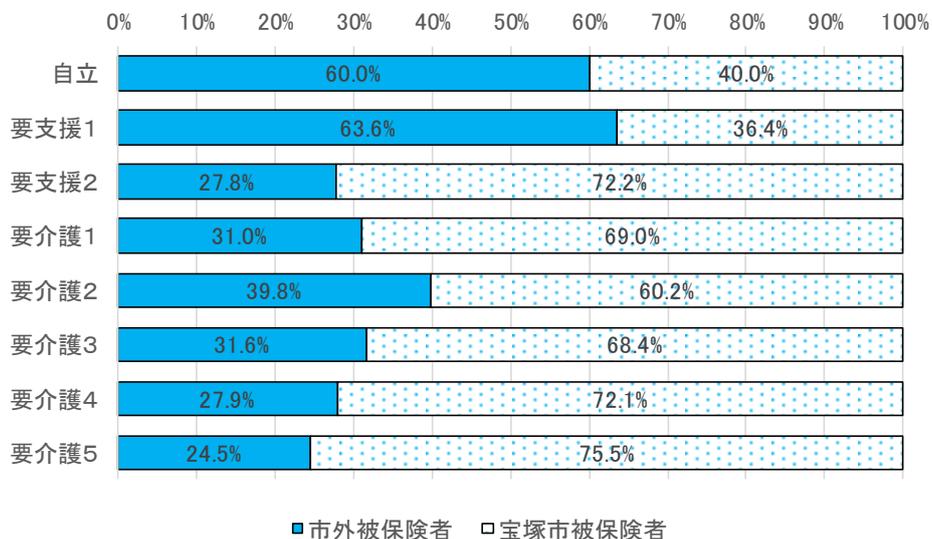
問13 問10で答えた入居者のうち、宝塚市の介護保険の被保険者の人数についてお答えください。

○要介護度別に宝塚市被保険者の入居者割合についてみると、「要介護5」が75.5%で最も多く、次いで「要支援2」が72.2%、「要介護4」が72.1%となっています。

【要介護度別・市内外の入居者数】



【要介護度別・市内外の入居者割合】

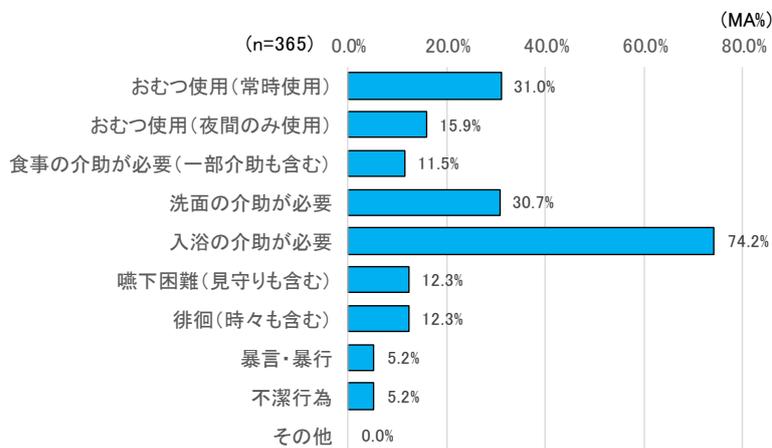


(7) 入居者の状況について

問14 貴住宅には下記のような方はおよそ何人入居されていますか。

○入居者の状況について「入浴の介助が必要」が74.2%で最も多く、次いで「おむつ使用（常時使用）」が31.0%、「洗面の介助が必要」が30.7%となっています。

【入居者の状況】

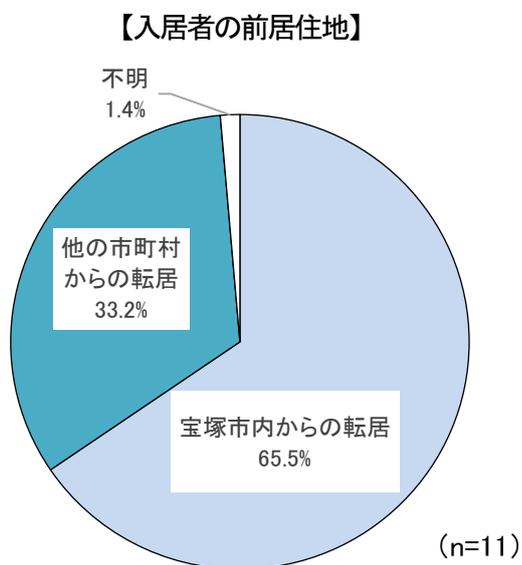


入居者の状態・行為	人数	割合
おむつ使用（常時使用）	113	31.0%
おむつ使用（夜間のみ使用）	58	15.9%
食事の介助が必要（一部介助も含む）	42	11.5%
洗面の介助が必要	112	30.7%
入浴の介助が必要	271	74.2%
嚥下困難（見守りも含む）	45	12.3%
徘徊（時々も含む）	45	12.3%
暴言・暴行	19	5.2%
不潔行為	19	5.2%
その他	0	0.0%
入居者数（n）	365	100.0%

(8) 入居者の前居住地

問15 入居者がサ高住に入居される前の居住地（住所）をお答えください。

- 入居者の前居住地について、「宝塚市内からの転居」は65.5%、一方で「他の市町村からの転居」は33.2%と概ね3人に1人となっています。
- 住民票を異動した方の前居住地について、「宝塚市内からの異動」が31.0%、「他の市町村からの異動」が28.1%となっております。



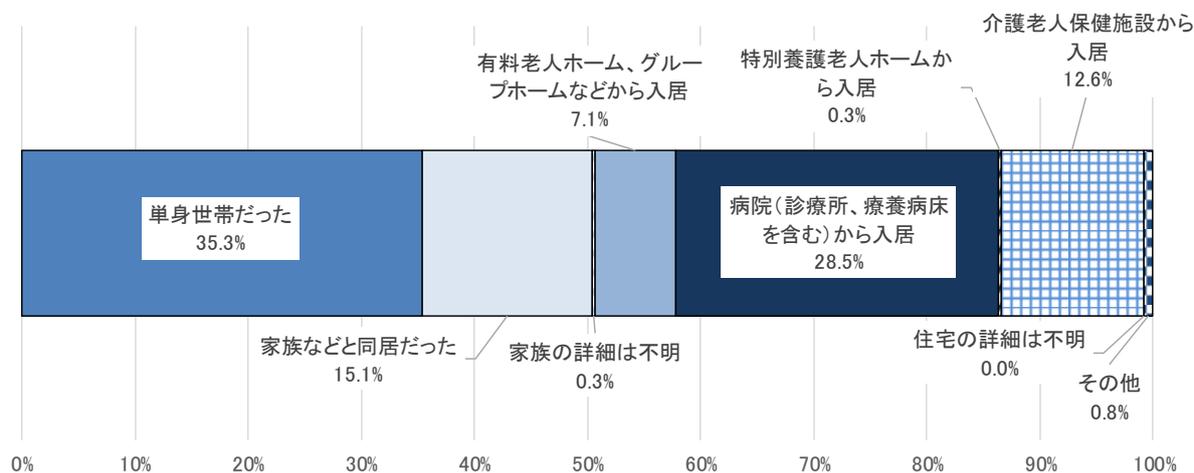
	入居者数		左記のうち、住民票を異動した方の人数	
	人数	割合	人数	割合
宝塚市内からの転居	239	65.5%	74	31.0%
他の市町村からの転居	121	33.2%	34	28.1%
不明	5	1.4%	5	100.0%
合計 (n)	365	100.0%	113	31.0%

(9) 入居者の前居住場所の種類

問 16 入居者の前居住場所の種類（自宅・施設など）や世帯の状況をお答えください。

○入居者の前居住場所の種類について、「（自宅からの入居者）単身世帯」が35.3%で最も多く、次いで「（施設等からの入居者）病院（診療所、療養病床を含む）」が28.5%、「（自宅からの入居者）家族などと同居」が15.1%となっています。

【入居者の前居住場所の種類】



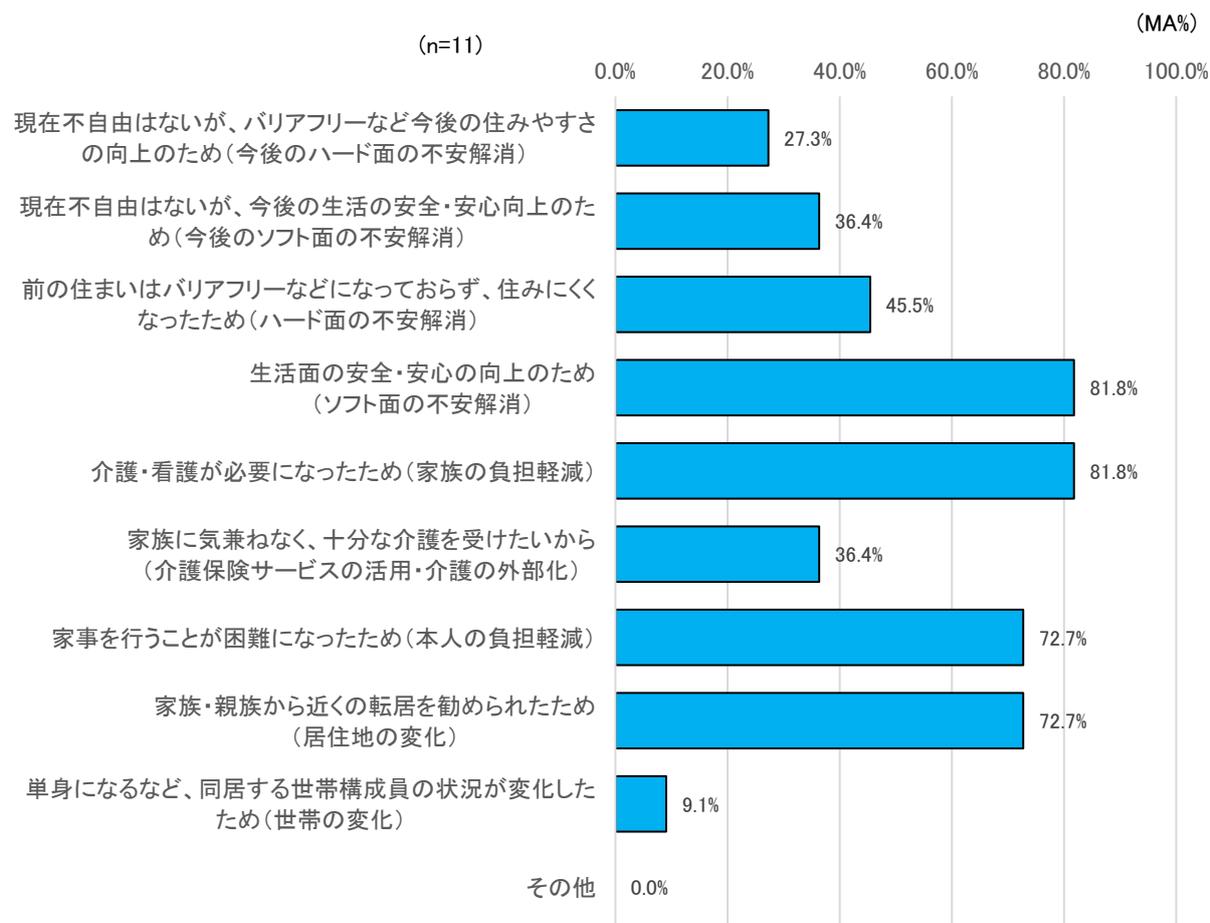
前居住場所の詳細		人数	割合
自宅からの入居者	単身世帯だった	129	35.3%
	家族などと同居だった	55	15.1%
	家族の詳細は不明	1	0.3%
施設等からの入居者	有料老人ホーム、グループホームなどから入居	26	7.1%
	病院（診療所、療養病床を含む）から入居	104	28.5%
	特別養護老人ホームから入居	1	0.3%
	介護老人保健施設から入居	46	12.6%
	住宅の詳細は不明	0	0.0%
その他		3	0.8%
合計（n）		365	100.0%

(10) 入居者が住み替えを行ったと思われる理由

問17 入居者が住み替えを行った理由として、多いと思われるものすべてに○をつけてください。(いくつでも回答可)

○入居者が住み替えを行ったと思われる理由について、「生活面の安全・安心の向上のため(ソフト面の不安解消)」「介護・看護が必要になったため(家族の負担軽減)」が81.8%で最も多く、次いで「家事を行うことが困難になったため(本人の負担軽減)」「家族・親族から近くの転居を勧められたため(居住地の変化)」が72.7%、「前の住まいはバリアフリーなどになっておらず、住みにくくなったため(ハード面の不安解消)」が45.5%となっています。

【入居者が住み替えを行ったと思われる理由 (MA)】

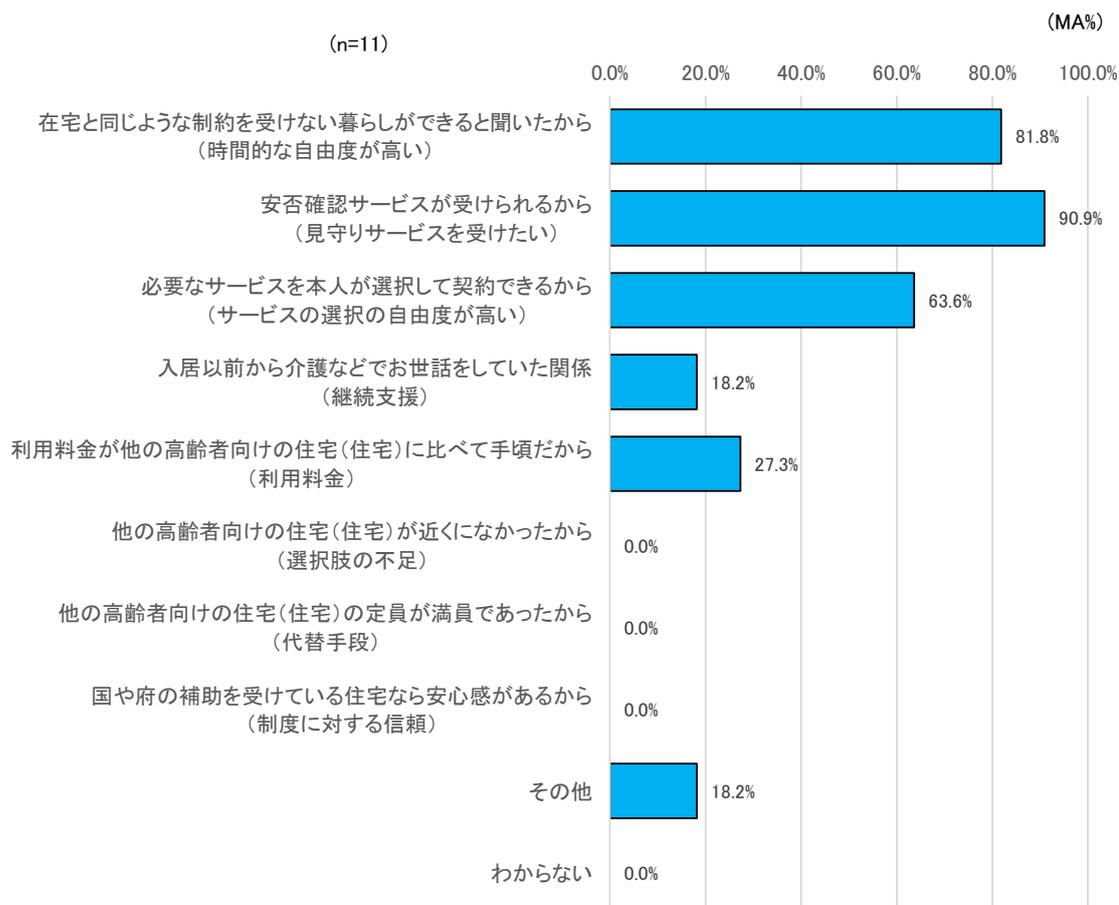


(11) 入居者がサ高住・有料老人ホームを選んだと思われる理由

問18 高齢者向けの住宅(住宅)は、サ高住以外にもありますが、その中から入居者がサ高住を選んだ理由として、多いと思われるものすべてに○をつけてください。(いくつでも回答可)

○入居者がサ高住・有料老人ホームを選んだと思われる理由について、「安否確認サービスが受けられるから(見守りサービスを受けたい)」が90.9%で最も多く、次いで「在宅と同じような制約を受けない暮らしができると聞いたから(時間的な自由度が高い)」が81.8%、「必要なサービスを本人が選択して契約できるから(サービスの選択の自由度が高い)」が63.6%となっています。

【入居者がサ高住・有料老人ホームを選んだと思われる理由】

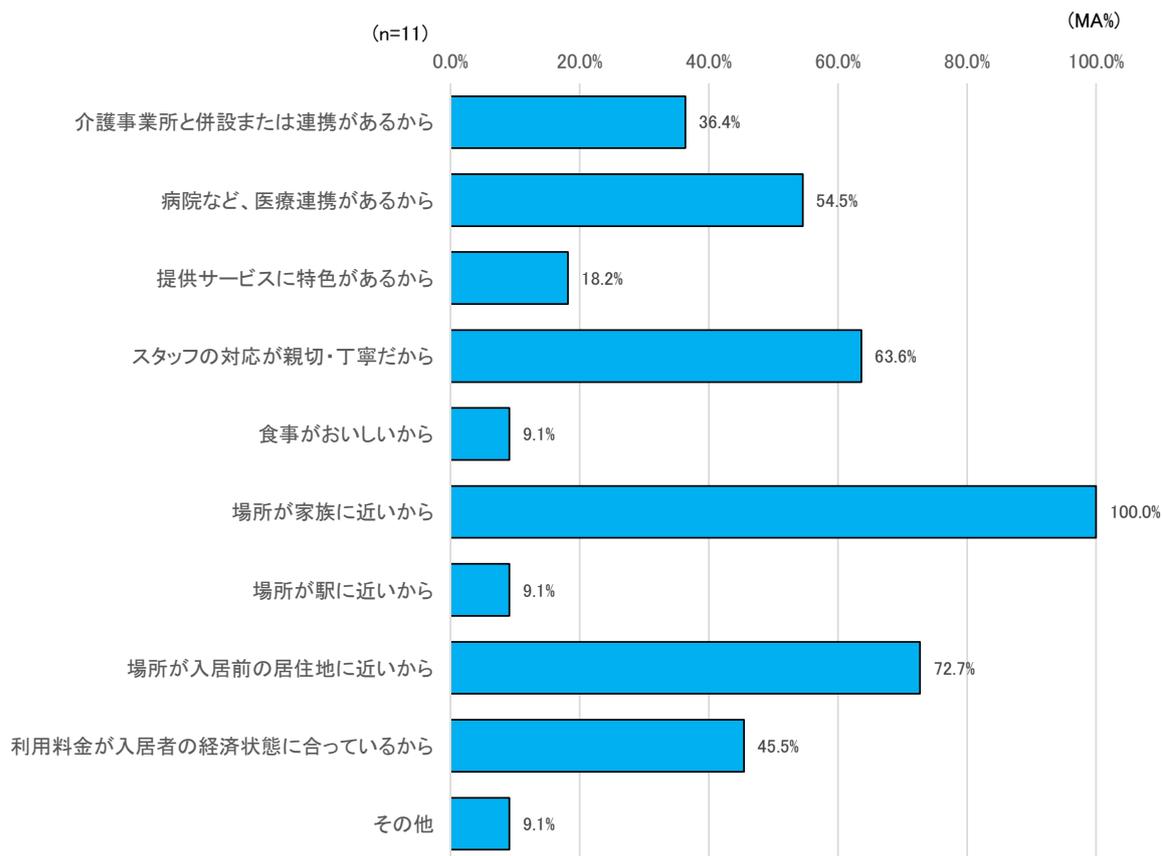


(12) 入居者が貴住宅を選択した（と思われる）理由

問19 数あるサ高住の中でも、入居者が貴住宅を選択した（と思われる）理由として、多いと思われるものすべてに○をつけてください。（いくつでも回答可）

○入居者が貴住宅を選択した（と思われる）理由について、「場所が家族に近いから」が100.0%で最も多く、次いで「場所が入居前の居住地に近いから」が72.7%、「スタッフの対応が親切・丁寧だから」が63.6%となっています。

【入居者が貴住宅を選択した（と思われる）理由】

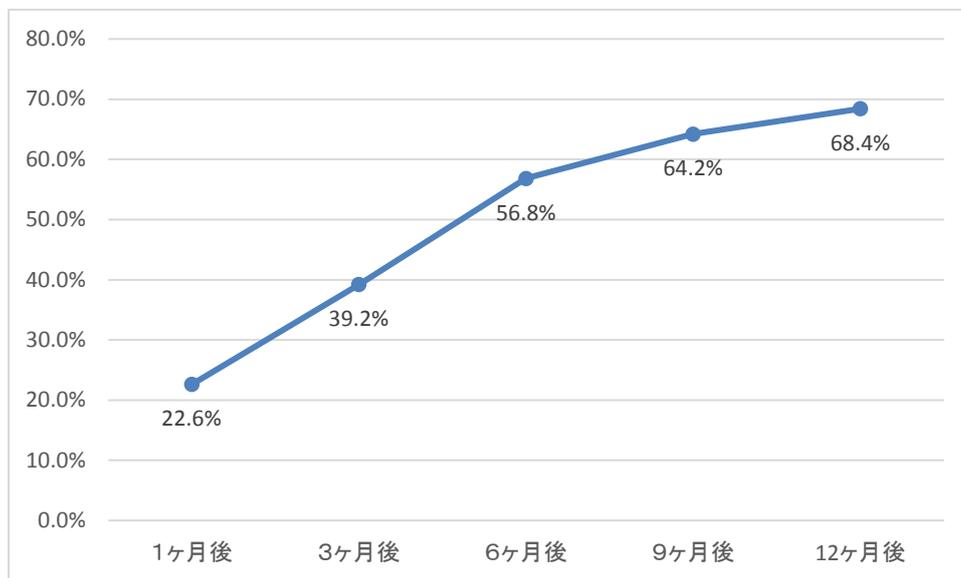


(13) 入居開始後、各時点での平均入居率

問20 サ高住の入居開始後、各時点での入居戸数をお答えください。

○入居開始後、各時点での平均入居率について、「1ヶ月後」22.6%、「3ヶ月後」39.2%、「6ヶ月後」56.8%、「9ヶ月後」64.2%、「12ヶ月後」68.4%となっています。入居開始後、半年時点での平均入居率は約5割、1年後では約7割となっています。

【入居開始後、各時点での平均入居率】



Ⅲ 退去者について

(1) 退去者の退去理由と退去先別の人数

問 21 退去者の退去理由と退去先別の人数

平成31年3月1日から令和2年2月29日の退去者の退去理由と退去先をお答えください。

※一人につき複数の理由が該当する場合は、それぞれの項目にカウントしてください。

- 平成31年3月1日から令和2年2月29日までの間に退去された方は142人(延べ人数では169人)となっています。
- 退去先をみると、「その他介護保険住宅・有料老人ホーム等」が31.4%で最も多く、次いで「病院」が21.3%、「自宅」が3.6%となっています。
- 退去理由をみると、「死亡」が40.8%で最も多く、次いで「医療の必要性」が19.5%、「要介護度の進行」が18.3%となっています。
- 退去理由をみると死亡での退去が多く、また、医療の必要性が生じた場合は介護保険施設等ではなく、病院へ退去しています。

【退去者の退去先別の人数】

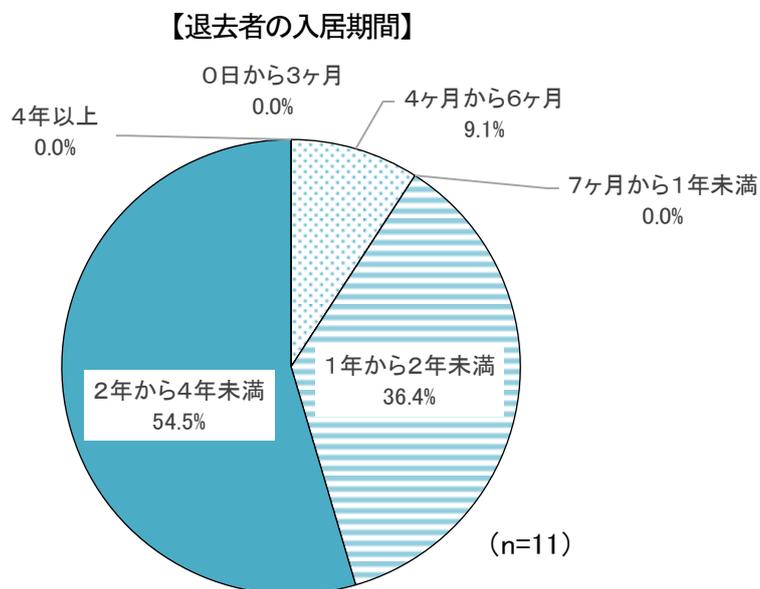
理由 \ 退去先	人数				割合				
	自宅	老人住宅・介護有料等	その他	病院	自宅	老人住宅・介護有料等	その他	病院	その他
要介護度の進行	0	23	8	0	0.0%	13.6%	4.7%	0.0%	
認知症の進行	0	18	6	0	0.0%	10.7%	3.6%	0.0%	
医療の必要性	0	11	22	0	0.0%	6.5%	13.0%	0.0%	
家族との同居	6	1	0	0	3.6%	0.6%	0.0%	0.0%	
死亡		69				40.8%			
その他		5				3.0%			
合計(延べ人数)(n)		169				100.0%			
合計(実人数)		142				-			

(2) 退去者の入居期間

問22 退去者の入居期間

平成31年3月1日から令和2年2月29日の退去者のおおよその入居期間について、最も多いものに○をつけてください。

○退去者の入居期間について、「2年～4年未満」が54.5%で最も多く、次いで「1年から2年未満」が36.4%、「4ヶ月から6ヶ月」が9.1%となっています。

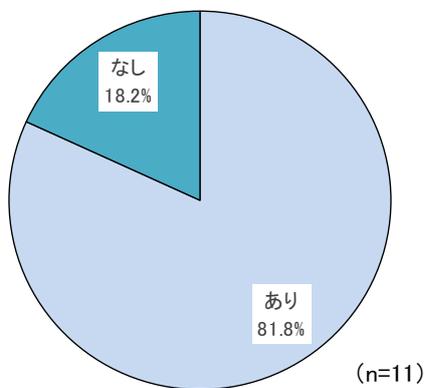


(3) 看取りを行う体制整備

問 23 看取りを行う体制の整備についてお答えください。

○看取りを行う体制整備について、「あり」が81.8%となっています。

【看取を行う体制整備】

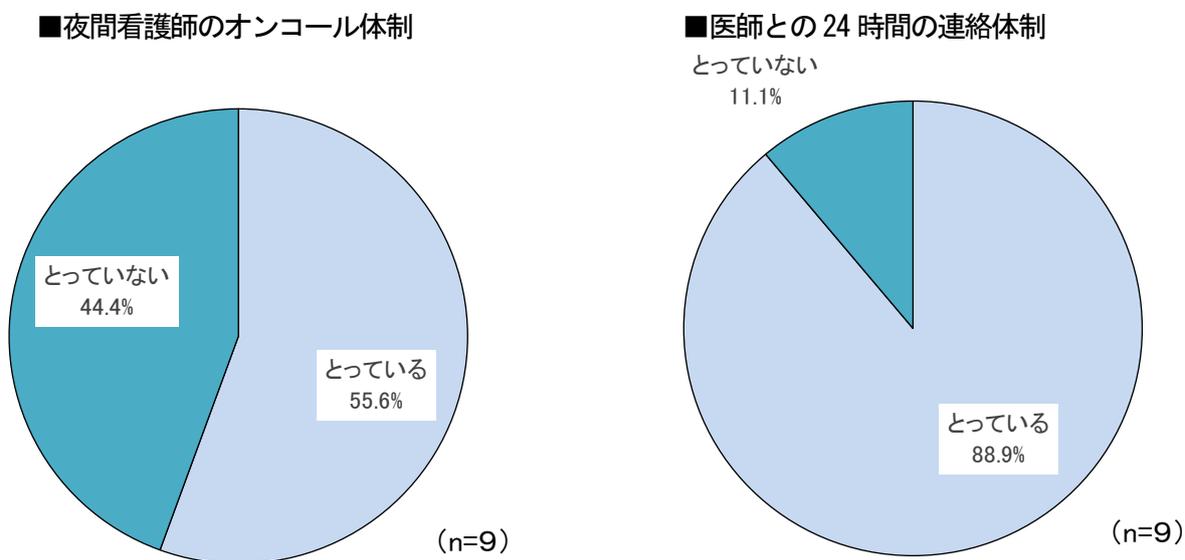


(4) 夜間看護師、医師との連絡体制について

問 24 貴住宅における夜間看護師、医師との連絡体制についてお答えください（あてはまるものに○）

- 夜間看護師のオンコール体制について、「とっている」が55.6%となっています。
- 医師との24時間の連絡体制について、「とっている」が88.9%となっています。

【夜間看護師、医師との連絡体制】

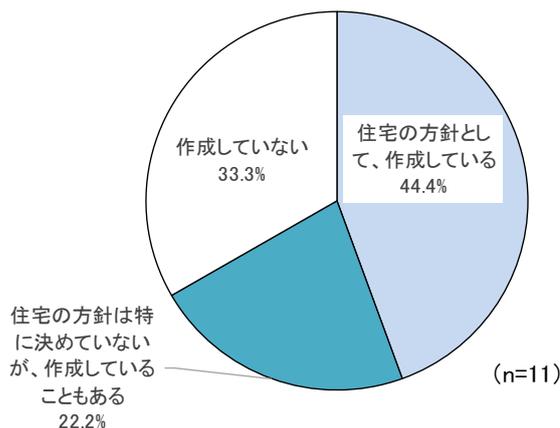


(5) 事前指示書の作成有無について

問25 貴住宅では、入所（居）者が治療の選択について自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか（あるいは受けたくないか）、自分で判断できなくなった場合に備えて代わりに誰に判断してもらいたいかということ、あらかじめ記載する書面（事前指示書）を策定していますか。（1つに○）

○事前指示書の作成有無について、「住宅の方針として、作成している」が44.4%で最も多く、次いで「作成していない」が33.3%となっています。

【事前指示書の作成有無について】

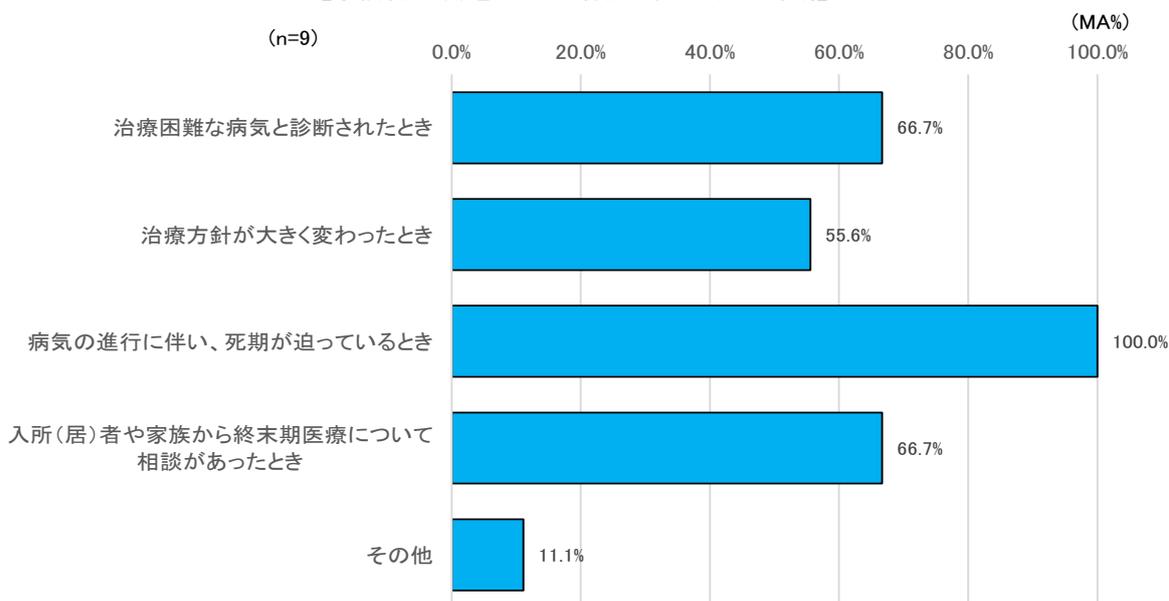


(6) 事前指示書を用いる場合に説明する時期について

問26 貴住宅では、仮に住宅として事前指示書を用いる場合、どのような時期に入所（居）者や家族に説明することが適当だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

○事前指示書を用いる場合に説明する時期について、「病気の進行に伴い、死期が迫っているとき」が100.0%で最も多く、次いで「治療困難な病気と診断されたとき」「入所（居）者や家族から終末期医療について相談があったとき」が66.7%となっています。

【事前指示書を用いる場合に説明する時期】



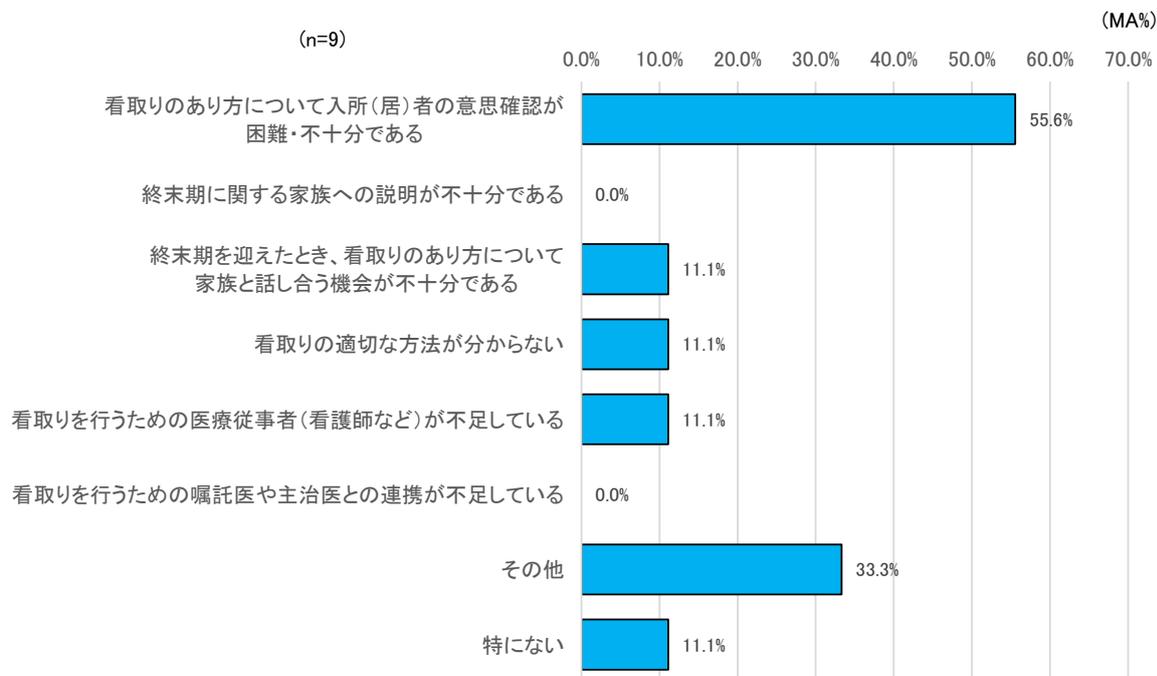
(7) 終末期医療およびケアを行うにあたっての問題点

問 27 貴住宅からみて、終末期医療およびケア（看取り）を行うにあたっての問題点は、次のうちどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

○終末期医療およびケアを行うにあたっての問題点について、「看取りのあり方について入所（居）者の意思確認が困難・不十分である」が55.6%で最も多く、次いで「その他」が33.3%となっています。

【終末期医療およびケアを行うにあたっての問題点】



IV 入居募集について

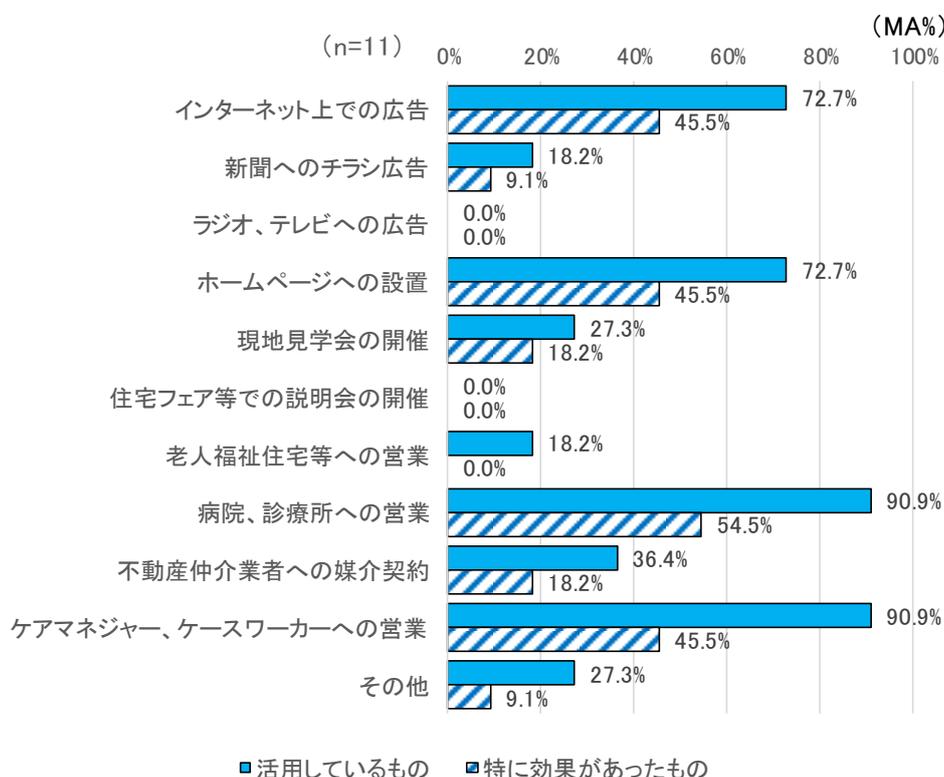
(1) 入居者の募集方法

問 28 入居者の募集の方法

サ高住・有料老人ホームの宣伝として活用しているものすべてを選び○をつけてください。そのうち、特に効果があったと思われるものすべてに○をつけてください。(いくつでも回答可)

- 活用している入居者の募集方法について、「病院、診療所への営業」「ケアマネジャー、ケースワーカーへの営業」が90.9%で最も多く、次いで「インターネット上での広告」「ホームページへの設置」が72.7%となっています。また、「ラジオ、テレビへの広告」「住宅フェア等での説明会の開催」の活用はありませんでした。
- 特に効果があった方法は、「病院、診療所への営業」が54.5%で最も多く、次いで「インターネット上での広告」「ホームページへの設置」「ケアマネジャー、ケースワーカーへの営業」が45.5%となっています。一方、「新聞へのチラシ広告」の効果は低くなっています。

【入居者の募集方法】



入居者の募集方法	活用しているもの		特に効果があったもの	
	回答数	割合	回答数	割合
インターネット上での広告	8	72.7%	5	45.5%
新聞へのチラシ広告	2	18.2%	1	9.1%
ラジオ、テレビへの広告	0	0.0%	0	0.0%
ホームページへの設置	8	72.7%	5	45.5%
現地見学会の開催	3	27.3%	2	18.2%
住宅フェア等での説明会の開催	0	0.0%	0	0.0%
老人福祉住宅等への営業	2	18.2%	0	0.0%
病院、診療所への営業	10	90.9%	6	54.5%
不動産仲介業者への媒介契約	4	36.4%	2	18.2%
ケアマネジャー、ケースワーカーへの営業	10	90.9%	5	45.5%
その他	3	27.3%	1	9.1%
全体 (n)	11	100.0%	11	100.0%

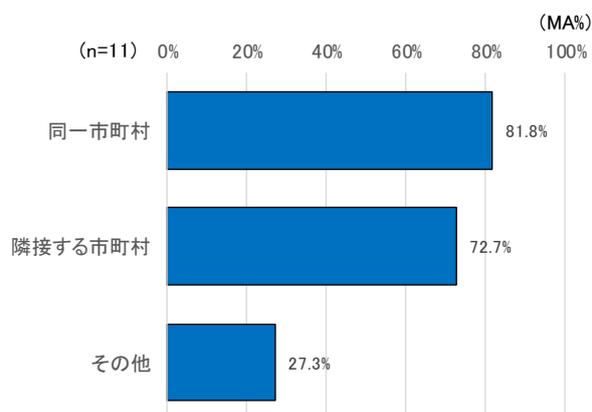
(2) 入居募集地域

問29 入居募集地域

入居募集（宣伝活動）を行っている地域について、該当するものをすべてお答えください。（いくつでも回答可）

○入居募集地域について、「同一市町村」が81.8%、「隣接する市町村」が72.7%となっています。

【入居募集地域】



V 独自の取組みについて

(1) 独自で実施している取組み

問 30 入居者の生活機能の維持のために、介護保険サービスや福祉サービス等を活用せず、貴住宅が独自で実施している取組みがあればお答えください。

・食事前に嚥下機能向上の為に嚥下体操。・レクリエーション活動。
・様々な教養・文化・アクティビティプログラムを毎日提供（1日4種類から6種類）。 「したい事」に向けてお一人おひとりに合わせたオーダーメイドの介護を提供する 「よくする介護」の実践。
・アクティビティの充足
・レクリエーション・嚥下体操は毎日行っている。
・レクリエーション活動。季節ごとのイベント。通信カラオケを利用した体操を実施しています。
・食事前に口腔体操を実施しています。夕方に通信カラオケを利用した体操を実施しています。四半期毎に行事を、その中で入居者が運動できるレクリエーションを取り組んでいます。例（新年初詣会、誕生会、豆まき、お花見、夏祭り、敬老会、クリスマス会）
・理学療法士によるリハビリ体操

VI 職員の配置状況について

(1) 職員の配置の現状

問 31 職員の配置の現状はどのようになっていますか。人数を数字で記入してください。

○職員の配置の現状について、「正規職員」が70人、「非正規職員」が125人となっています。
また、非正規職員の内訳は、「常勤労働者」が42人、「短時間労働者」が83人となっています。

【職員の配置の現状】

職種	正規職員	非正規職員	
		常勤労働者	短時間労働者
全体	70	42	83
看護師	3	0	5
介護職員	45	29	56
介護福祉士	26	8	18
理学療法士	0	0	0
作業療法士	0	0	0
計画作成担当者	4	0	0
生活相談員	8	13	2
外国人技能実習生	0	0	0

(2) 職員の平均在職年数

問32 職員の平均在職年数はおよそ何年ですか。在職年数を数字で記入してください。

○職員の平均在職年数について、非正規職員は、「1年」～「2年」に多くなっています。

【職員の平均在職年数】

平均在職年数	回答数																						
	正規職員							非正規職員															
								常勤労働者						短時間労働者									
	全体	看護師	介護職員	理学療法士	作業療法士	計画作成担当者	生活相談員	外国人技能実習生	全体	看護師	介護職員	理学療法士	作業療法士	計画作成担当者	生活相談員	外国人技能実習生	全体	看護師	介護職員	理学療法士	作業療法士	計画作成担当者	生活相談員
0年																	1						
1年	1		1			1	1	1		1					1	2		2					
2年	2	1						4		2				1	4	1	2						
3年	3		3			1									2		3					1	
4年	1		2					1		1													
5年			1			1	1	1		1				1	1		2						
6年	1						1								1								
7年																							
8年	1						1																

(3) 職員の応募状況

問33 過去一年間の職員の応募状況と採用状況を記入してください。人数を数字で記入してください。

- 職員の応募状況について、「正規職員」が36人、「非正規職員」が98人となっています。非正規職員の内訳は、「常勤労働者」が29人、「短時間労働者」が69人となっています。
- 職員の採用状況について、「正規職員」が22人、「非正規職員」が56人となっています。非正規職員の内訳は、「常勤労働者」が16人、「短時間労働者」が40人となっています。
- 職員の採用率について、「正規職員」が61.1%、非正規職員の「常勤労働者」が55.2%、「短時間労働者」が58.0%となっています。

【職員の応募状況】

■ 応募状況

職種	正規職員	非正規職員	
		常勤労働者	短時間労働者
全体	36	29	69
看護師	4	0	4
介護職員	32	26	62
理学療法士	0	0	0
作業療法士	0	0	0
計画作成担当者	0	0	0
生活相談員	0	3	0
外国人技能実習生	0	0	0

■ 採用状況

職種	正規職員	非正規職員	
		常勤労働者	短時間労働者
全体	22	16	40
看護師	1	0	1
介護職員	21	13	38
理学療法士	0	0	0
作業療法士	0	0	0
計画作成担当者	0	0	0
生活相談員	0	3	0
外国人技能実習生	0	0	0

■ 採用率

職種	正規職員	非正規職員	
		常勤労働者	短時間労働者
全体	61.1%	55.2%	58.0%
看護師	25.0%	0.0%	25.0%
介護職員	65.6%	50.0%	61.3%
理学療法士	0.0%	0.0%	0.0%
作業療法士	0.0%	0.0%	0.0%
計画作成担当者	0.0%	0.0%	0.0%
生活相談員	0.0%	100.0%	0.0%
外国人技能実習生	0.0%	0.0%	0.0%

(4) 職員の過不足状況

問34 貴住宅が計画している職員の配置状況と現状を比較して、あてはまる部分に○を記入してください。

○職員の過不足状況について、正規職員・非正規職員ともに介護職員が「不足」と回答している方が多くなっています。

【職員の過不足状況】

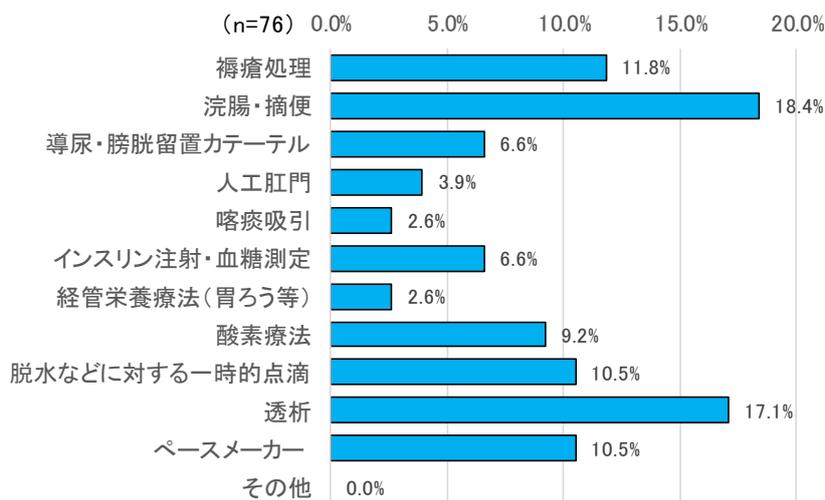
職種	区分	過不足状況				
		大いに不足	不足	適当	過剰	無回答
全体	正規職員	0.0%	9.1%	72.7%	0.0%	18.2%
	非正規 常勤	0.0%	18.2%	72.7%	0.0%	9.1%
	非正規 短時間	0.0%	36.4%	54.5%	0.0%	9.1%
看護師	正規職員	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	81.8%
	非正規 常勤	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	81.8%
	非正規 短時間	0.0%	9.1%	18.2%	0.0%	72.7%
介護職員	正規職員	0.0%	18.2%	54.5%	0.0%	27.3%
	非正規 常勤	0.0%	18.2%	54.5%	0.0%	27.3%
	非正規 短時間	0.0%	36.4%	45.5%	0.0%	18.2%
理学療法士	正規職員	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	81.8%
	非正規 常勤	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	81.8%
	非正規 短時間	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	81.8%
作業療法士	正規職員	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	81.8%
	非正規 常勤	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	81.8%
	非正規 短時間	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	81.8%
計画作成担当者	正規職員	0.0%	9.1%	45.5%	0.0%	45.5%
	非正規 常勤	0.0%	9.1%	27.3%	0.0%	63.6%
	非正規 短時間	0.0%	9.1%	27.3%	0.0%	63.6%
生活相談員	正規職員	0.0%	9.1%	54.5%	0.0%	36.4%
	非正規 常勤	0.0%	9.1%	54.5%	0.0%	36.4%
	非正規 短時間	0.0%	9.1%	45.5%	0.0%	45.5%

(5) 医療を必要とする入居者

問35 貴住宅では下記のような医療を必要とする入居者がおられますか。おられる場合 () 内に人数を記入してください。 (およそ過去3か月間)

○医療を必要とする入居者についてみると、「浣腸・排便」が18.4%と最も多く、次いで「透析」が17.1%、「褥瘡処理」が11.8%となっています。

【医療を必要とする入居者】



入居者の状態・行為	医療を必要とする入居者		入居者数に占める割合
	人数	割合	
褥瘡処理	9	11.8%	2.5%
浣腸・排便	14	18.4%	3.8%
導尿・膀胱留置カテーテル	5	6.6%	1.4%
人工肛門	3	3.9%	0.8%
喀痰吸引	2	2.6%	0.5%
インスリン注射・血糖測定	5	6.6%	1.4%
経管栄養療法(胃ろう等)	2	2.6%	0.5%
酸素療法	7	9.2%	1.9%
脱水などに対する一時的点滴	8	10.5%	2.2%
透析	13	17.1%	3.6%
ペースメーカー	8	10.5%	2.2%
その他	0	0.0%	0.0%
合計 (n)	76	100.0%	20.8%

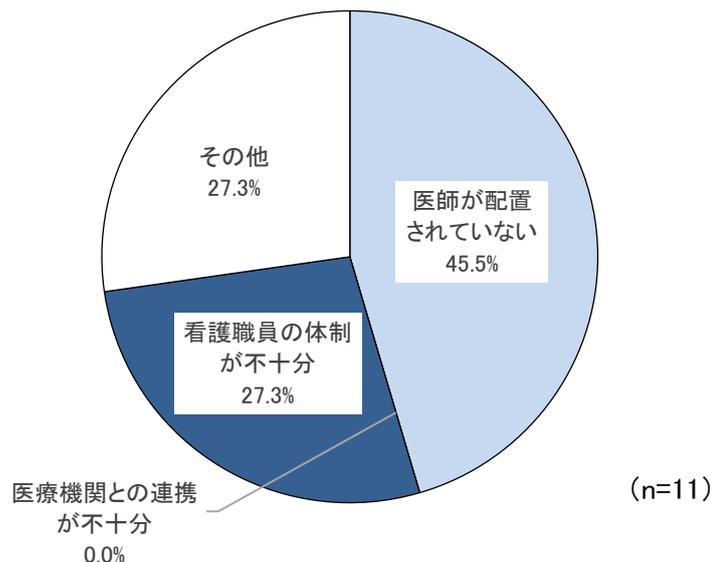
Ⅶ 医療との連携について

(1) 医療処置が必要な人の入居が受け入れられない理由

問 36 医療処置が必要な人の入居が受け入れられない場合、どのようなことが理由となっていますか。最もあてはまる理由をひとつ選択してください。

○医療処置が必要な人の入居が受け入れられない理由について、「医師が配置されていない」が45.5%と最も多く、次いで「看護職員の体制が不十分」「その他」の順となっています。

【医療処置が必要な人の入居が受け入れられない理由】

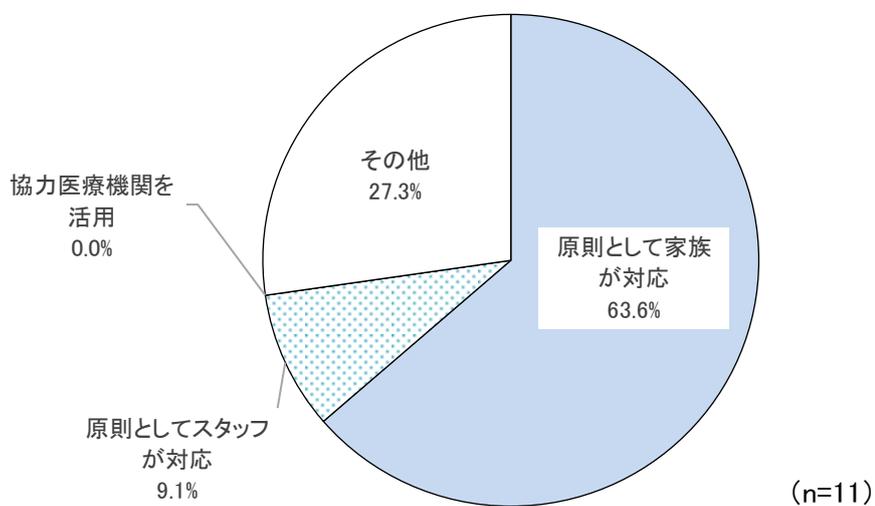


(2) 通院時の対応について

問 37 通院時にはどのような対応をしていますか。

○通院時の対応について、「原則として家族が対応」が63.6%と最も多く、次いで「その他」が27.3%、「原則としてスタッフが対応」が9.1%の順となっています。

【通院時の対応】

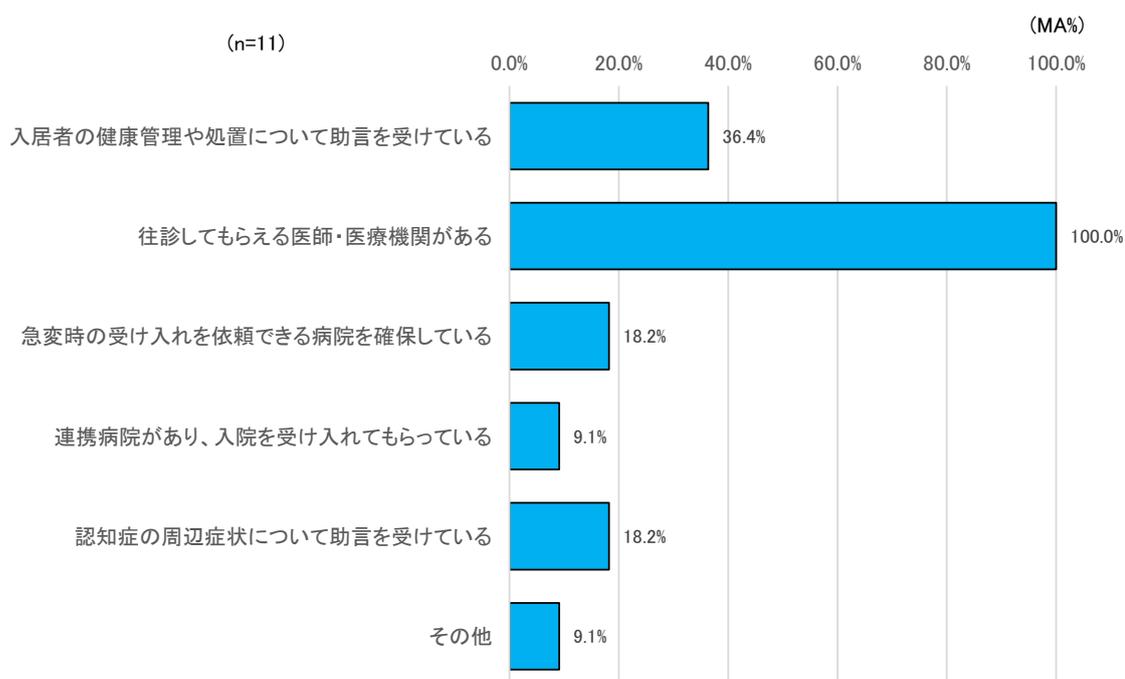


(3) 医療機関との連携について

問38 医療機関と、どのように連携していますか。

○医療機関との連携について、「往診してもらえる医師・医療機関がある」が100.0%と最も多く、次いで「入居者の健康管理や処置について助言を受けている」が36.4%、「急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している」「認知症の周辺症状について助言を受けている」が18.2%の順となっています。

【医療機関との連携】



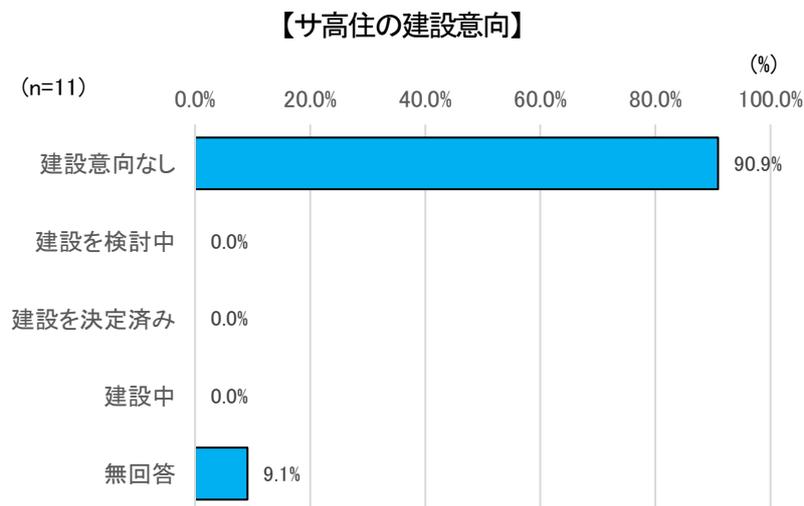
Ⅷ 今後の事業展開について

(1) 令和2年度までの宝塚市内におけるサ高住の建設意向

問 39 今後の事業展開についてお答えください。

①令和2年度までの宝塚市内におけるサ高住の建設意向

○令和2年度までの宝塚市内におけるサ高住の建設意向について、「建設の意向なし」が90.9%となっています。

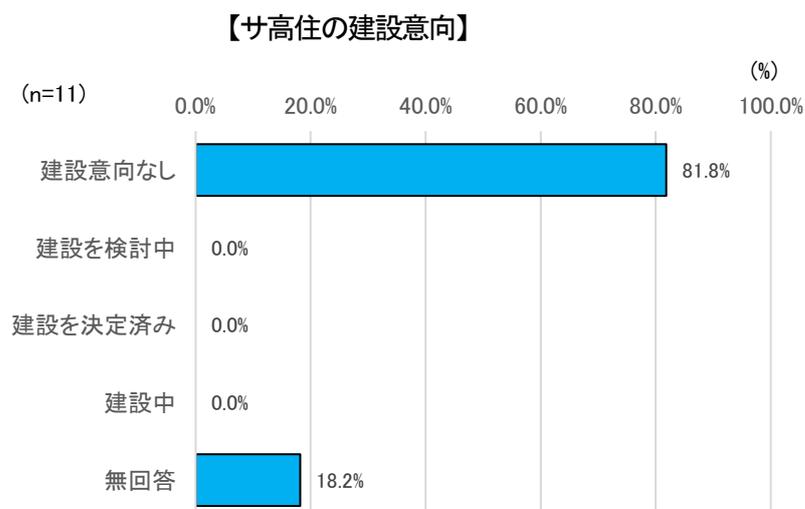


(2) 令和3年度以降の宝塚市内におけるサ高住の建設意向

問 39 今後の事業展開についてお答えください。

②令和3年度以降の宝塚市内におけるサ高住の建設意向

○令和3年度以降の宝塚市内におけるサ高住の建設意向について、「建設の意向なし」が81.8%となっています。

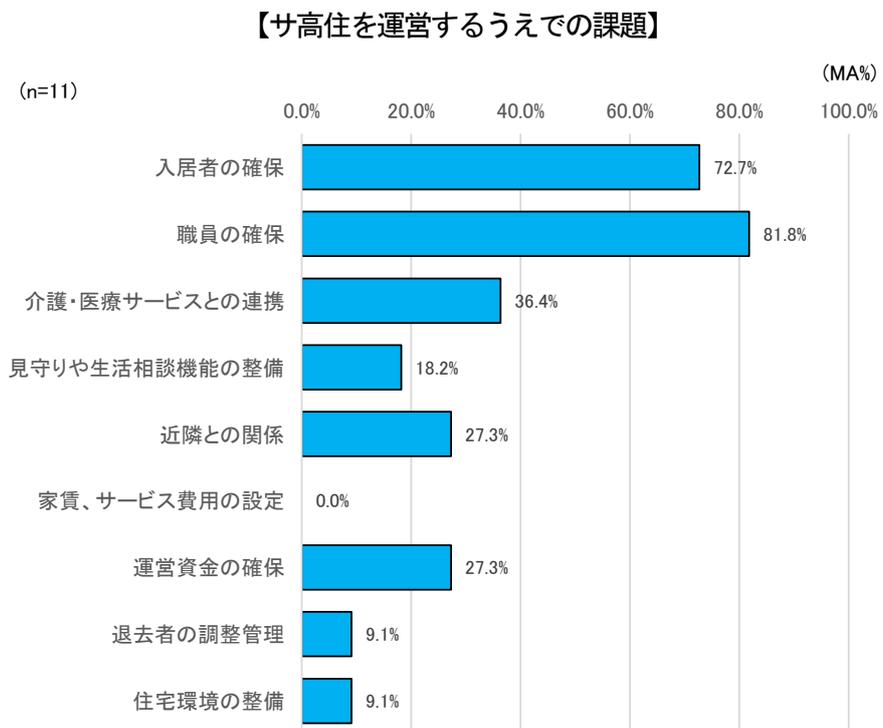


IX 運営・建設上の課題について

(1) サ高住を運営するうえでの課題について

問 40 サ高住を運営するうえでの課題について、該当するものすべてに○をつけてください。(いくつでも回答可)

○サ高住を運営するうえでの課題について、「職員の確保」が81.8%と最も多く、次いで「入居者の確保」が72.7%、「介護・医療サービスとの連携」が36.4%の順となっています。



(2) 従業員の定着に向けての取組み

問41 従業員の定着に向けて貴事業所において取り組まれていることがありましたら教えてください。

<ul style="list-style-type: none">・有給の取得状況を管理者が毎月確認し、使用が少ない職員への利用の促し。・介護用のリフト、機械浴槽、見守りセンサー、電子記録システムなど負担軽減の仕組みを取り入れている。・メンタルヘルスのセルフチェック体制、外部への相談窓口を設けている。・年2回以上の定期的な面談の機会を設けている。・特別休暇制度あり。・ハラスメントに関する規定を就業規則へ明記。 等。
<ul style="list-style-type: none">・従業員の勉強会を月1回開催してスキルアップと安心感を補足してます。条件付きですが、リフレッシュ対策として、旅行補助金を対応しています。処遇改善手当を職員全員に振り分けています。
<ul style="list-style-type: none">・同じグループ内での近隣事業所への異動。
<ul style="list-style-type: none">・労務環境整備
<ul style="list-style-type: none">・話を聞く。話しやすい環境づくり。

(3) ボランティア活動の内容について

問42 貴住宅ではどのようなボランティア活動が行なわれていますか。(〇はいくつでも)

○ボランティア活動の内容について、「日常的に行われているレクリエーション等の指導、参加支援」が45.5%と最も多く、次いで「住宅でのお茶だし、食堂内の配膳・下膳などの補助」が36.4%の順となっています。

【ボランティア活動の内容】

